

事務事業名	緑のカーテン推進事業		所属部局	農林商工部	単位番号	6226					
	<input type="checkbox"/> 実施計画事業		所属課室	みどり自然課	課長名	杉山 啓子					
			所属担当	花とみどりの推進担当	担当者名	石川 博文					
基本政策	基本計画	IV 快適で心のかよいあう都市づくり	予算科目	会計 01	名称 一般	款 08	項 04	目 06	細目 020	細々目 08	
政策	計画	19 自然環境の保全と活用	事業区分	<input type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 施設等維持管理事業 <input type="checkbox"/> 県の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 補助金交付事業 <input type="checkbox"/> 市の制度による義務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他の事業 <input type="checkbox"/> 義務化されている協議会等の負担金							
施策	体系	32 自然と共生する地域づくり									
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度) 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度) 年度)		法令根拠	山梨県緑化計画 南アルプス市みどりの基本計画							
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 ★緑のカーテン推進事業 地球温暖化対策の一つとして、また、みどり豊かな街並み形成のため市内小中学校、保育所、公共施設、一般家庭、に緑のカーテンを普及し、支援を行う事業			事業費の主な内訳 (25年度 決算見込) 項目(細節) 金額(千円) 項目(細節) 金額(千円)							
				報償金		24					
				需用費		23					
							計		47		

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と目標

① 活動	25年度活動実績 緑の募金事業交付金を活用して、市内小中学校・保育所・公共施設等へ緑のカーテン設置支援を行い、栽培講習会・挿芽講習会・緑のカー 26年度活動予定 緑の募金事業交付金を活用して、市内小中学校・保育所・公共施設等へ緑のカーテン設置支援を行い、栽培講習会・挿芽講習会・緑のカー	⇒	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない 名称 単位 ア 緑のカーテン栽培講習会開催回数 回 イ 緑のカーテン挿芽講習会開催回数 回 ウ 緑のカーテンコンテスト開催回数 回
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	市民(一般家庭) 市内小中学校、保育所、公共施設、	⇒	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない 名称 単位 ア 市民・小中学校・保育所・公共施設 ケ所 イ: ウ:
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしているのか、どのように変えるのか)	毎年、緑のカーテンを楽しみながら育てる一般家庭及び市内小中学校や保育所、公共施設を増やす。	⇒	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない 名称 単位 ア みどり自然課が関与している設置箇所数 ケ所 イ: ウ:
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	地球温暖化防止対策への意識が高まり、できることから積極的に実行するようになる。	⇒	⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない 名称 単位 ア 地球温暖化防止に関心を持っている市民の割合 % イ:

(2) 事業費・指標の推移

年間トータルコスト	事業費	財源内訳	単位	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	最終	年度
				(決算・実績)	(決算・実績)	(決算見込・実績)	(予算・目標)	(計画・目標)	(計画・目標)	(トータルコスト・目標)	
事業費	内訳	国庫支出金	千円								
		県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		一般財源	千円	535	41	47	50	50	50		
		事業費計(A)	千円	535	41	47	50	50	50	0	
人件費	内訳	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2	2		
		延べ業務時間	時間	240	240	240	240	240	240		
		人件費計(B)	千円	1,092	1,092	1,092	1,092	1,092	1,092	0	
		(A)+(B)	千円	1,627	1,133	1,139	1,142	1,142	1,142	0	
活動指標	内訳	ア	回	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0		
		イ	回	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0		
		ウ	回	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0		
対象指標	内訳	ア	ヶ所	24,631.0	24,787.0	24,787.0	24,787.0	24,787.0	24,787.0		
		イ: ウ:									
成果指標	内訳	ア	ヶ所	109.0	46.0	46.0	46.0	46.0	46.0		
		イ: ウ:									
上位成果指標	内訳	ア	%	35.0	40.0	45.0	45.0	45.0	45.0		
		イ:									

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	平成20年度より地球温暖化対策の一つとして、市内小中学校、保育所、公共施設、一般家庭、企業等に緑のカーテンを設置し、その普及・啓発を進める支援を行う。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	2005年2月の京都議定書の発効により、国際的に公約した温室ガスを2012年までに6%削減に向け、国や市町村が役割に応じ、総力を挙げて地球温暖化防止対策に取り組み始めた。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	商店街や一般家庭に普及を進める。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容!】 <input type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由!】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	緑のカーテンの一般モニターを募集
③ H 25年度に実施した改革改善の内容	緑のカーテンコンテストの際には、ホームページや広報に掲載し、出来るだけ周知を図った。

事務事業名	緑のカーテン推進事業	所属部	農林商工部	所属課	みどり自然課
-------	------------	-----	-------	-----	--------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 地球温暖化防止及び夏の節電対策の一つとして、市内小中学校、保育所、公共施設、一般家庭、に緑のカーテン普及、啓発を進めるための支援を行う。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 夏の節電対策と地球温暖化防止対策の一環で行っているため、税金を投入しても妥当といえる。すでにNPO法人に一部を委託している。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input type="checkbox"/> 民間・NPO <input type="checkbox"/> 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 一般家庭、小中学校、公共施設、企業等へ普及を図り、夏の節電対策や地球温暖化防止対策に効果が得られることが期待できるので、今後も維持・継続をしていくことは、妥当である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後さらに事務事業の成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 一般家庭、小中学校、公共施設、企業等へ普及を図り、夏の節電対策や地球温暖化防止対策に効果が得られることが期待できる。
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓) <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 <input type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 緑のカーテンに対する意識の高揚が薄れ、設置者が激減する。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 普及を図っていくためには、モデル施設を増やし、市民にPRをするので、事業費は削減できない。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 NPO法人へ委託部分を増加する。
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 モニターを公募により募集しているので、公平公正である。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	琉球アザガオは宿根草であり種子をつけないため、ランナーによって増えていく。その特徴を捉え、秋口に挿し木(取り木)講習会を開催するとともに、挿し木(取り木)をして越冬させ、平成25年度の春に開催するみどりのカーテン栽培講習会では、配布苗の一部を越冬苗で配布した。また、秋口には、平成26年度配布用の苗を育てている。新たな苗を毎年業者から購入するのではなく、植物の持つ特性を活かし、経費をかけない方法で、継続してカーテンづくりに取り組めるように栽培講習や指導や相談の機会を増やし市民が気安く取り組めるように工夫をしている。
② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> <p>※ 廃止・休止の場合は記入不要</p>			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
(2) 改革改善案について																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策	(5) 事務事業優先度評価結果 平成25年度																					
	成果優先度評価結果 ⑫																					
	コスト削減優先度評価結果 ⑨																					